



下関市長の部屋

検索

<http://www.city.shimonoseki.lg.jp/>



朝鮮通信使行列再現で親書交換する長府藩主役の中尾下関市長(左)と正使役の徐秉洙釜山広域市長(8月20日 海峡ゆめ広場)

国際文化交流を進めています！ 朝鮮通信使ユネスコ 記憶遺産登録を目指して！

こ んにちは。市長の中尾友昭です。今年、韓国・釜山広域市との姉妹都市の盟約を結んで40周年の記念すべき年です。

10月18日に釜山広域市で記念式典が行われました。この記念式典に「市民友好の船」として訪問団を結成し、日韓親善に関係の深い団体・企業や市民の方々と一緒に関釜フェリーに乗って釜山を訪問し、そろって式典に参加しました。関釜相互の記念公演として、下関からは先帝祭上臈道中一行を派遣し、式典に華を添えました。

本市においてもさまざまな交流事業がありました。去る8月20日の馬関まつりで、13回目となる朝鮮通信使行列再現を行いました。朝鮮通信使は、朝鮮王朝が日本に派遣した友好的な外交使節団です。室町時代から江戸時代にかけて17回、そのうち両国関係が安定した江戸時代には12回来日しています。今年の朝鮮通信使行列再現は、一行の長である正使役に釜山広域市の徐秉洙(ソ・ビョンス)市長を迎え、下関市民98人、釜山広域市民108人、総勢206人での行列となりました。行列のフィナーレを飾る

親書交換式では、私は長府藩主に扮し、徐秉洙釜山広域市長と今後の両市の友好関係を誓い合う親書を取り交わしました。

関門海峡を背景に、華やかに再現された朝鮮通信使行列をご覧になった皆さんは、壮大な歴史に思いをはせたことでしょうか。翌21日には、本市を訪れた姉妹都市の市長などに贈られる「下関市国際親善名誉市民章」を徐秉洙市長に贈りました。

日韓文化交流公演では、駐広島大韓民国総領事館の協力により、韓国と日本の懸け橋として活動しているポップスグループが華麗なステージを披露しました。

現 在、「朝鮮通信使に関する記録」のユネスコ記憶遺産登録に取り組んでいます。

今年3月、本市が加入するNPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会と韓国の財団法人釜山文化財団がユネスコに日韓共同申請しました。登録は来年秋ごろまでに決定される見込みです。

11月18日に開館する市立歴史博物館でユネスコ記憶遺産登録申請の資料を展示しますので、ぜひご来館ください。

しものせきナビ vol.72

行って！学んで！博物館！

馬関戦争図

ふじしまつねおき 藤島常興筆

下関市立歴史博物館蔵

本図は、元治元(一八六四年)八月に起こった下関戦争(馬関戦争)を描いたものです。

下関戦争はイギリス・フランス・オランダ・アメリカの四国艦隊と長州藩との戦争です。

八月五日、艦隊の砲撃から戦いが始まると、すぐに長州側の砲台はことごとく沈黙させられ、兵の上陸を許します。外国勢の圧倒的な戦力に長州藩は数日で敗北し、攘夷が不可能であることを思い知らされました。

作者は下関戦争に従軍した長府藩の藤島常興です。後年自らの体験をもとに制作しました。当時の海峡を、壇浦砲台を中心に描いたものと考えられ、画面に向かって左から右へ、艦隊の来襲、砲撃戦、陸上戦へと場面が移り変わり、時間の経過と戦況の変化が表現されています。

縦約100センチ、横約380センチの迫力ある画面からは、作者が目撃した戦いを実感した衝撃が伝わってきます。

